

事業番号	05 12 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	動物愛護管理対策事業	部局	健康福祉部	課・室	食品・生活衛生課		
		実施期間	H25 ～	E-mail	shokusei@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減						

### 1 現状と課題

動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、長野県動物愛護管理推進計画を定め各施策を推進している。計画による目標は概ね達成しているが、令和2年度の動物の愛護及び管理に関する法律の改正により、自治体の体制強化や規制強化等が盛り込まれたこと、また、近年多発する災害や感染症の流行により社会を取り巻く環境が変化しており、災害対策や多頭飼育問題、動物取扱業者への対応等、新たな課題への対応も求められている。

### 2 事業目的

人と動物が共生する潤い豊かな社会の実現を目指し、動物愛護の普及啓発と適正な飼養管理の推進を図る。  
動物介在活動を通じ、困難を抱える子どもを支援するとともに、各地域で独自に動物介在活動ができるよう基盤づくりを進める。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

**①動物愛護管理施策の推進**  
環境大臣が定めた基本指針に基づき、本県の動物愛護管理に係る施策を総合的かつ計画的に推進するため「長野県動物愛護管理推進計画」を策定し施策を推進している。  
<基本理念>  
人と動物が共生する潤い豊かな社会の実現  
<基本目標>  
・動物愛護の普及啓発：教育・広報活動、ボランティア育成、動物愛護フェスティバル開催、災害対策強化等  
・適正な飼養管理の推進：犬猫の引取り数・致死処分頭数減少、所有者明示実施率向上、危害・迷惑防止等

**②困難を抱える子どもへの動物介在活動による支援事業**  
動物愛護センター（ハローアニマル）を拠点として行っている、動物介在活動を通じて不登校やひきこもりなどの困難を抱える子どもを支援する事業を、長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」において自殺対策事業のひとつとして位置づけ、独自に動物介在活動を行うことができる基盤づくりを目的として実施。  
・ハローアニマル子どもサポート  
・おでかけハローアニマル子どもサポート：発達心理カウンセリングセミナー、ふれあい活動、個別相談  
・セラピーアニマルサポーター養成講習会

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	収容犬の返還・譲渡率	%	98.9	99.4	↗	98.2	↘	95	達成	長野県動物愛護管理推進計画において、令和13年度までに不要な殺処分頭数を5頭以下にすることを目標としているため、現在の水準を引き続き維持する。	
②	収容猫の返還・譲渡率	%	70.9	75.0	↗	77.3	↗	80	未達成	長野県動物愛護管理推進計画において、令和13年度までに不要な殺処分頭数を50頭以下にすることを目標としているため、現在の水準を引き続き維持する。	
③	動物ふれあい事業の参加者数	人	2,120	2,772	↗	2,392	↘	8,600	未達成	長野県動物愛護管理推進計画において、動物愛護フェスティバルの実施回数を年1回以上を目標としており、その他県民への普及啓発活動を行い、目標達成を目指す。	
④	ハローアニマル子どもサポートプログラムに参加した児童生徒の人数	人	49	68	↗	49	↘	50	未達成	困難を抱える子どもの居場所づくりを引続き実施し、対応できる職員数を確保しながら受入れ増加を目指す。	

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	113,551	2,803	116,354	94,603	108,218	31.0
R3年度	0	112,858	0	112,858	96,651	105,219	31.0
R2年度	0	107,951	△844	107,107	94,055	96,005	31.0

事業番号	05 12 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	動物愛護管理対策事業		部局	健康福祉部	課・室	食品・生活衛生課

## 6 主な取組実績と成果

### ①動物愛護管理施策の推進

令和4年3月に長野県動物愛護管理推進計画を改定し、新たな数値目標を設け、施策を推進した。  
 推進計画に定める改正前からの継続の施策については、猫の引取り数や譲渡率、殺処分数の他、狂犬病予防注射率等が数値目標として設けられており、事業の委託契約等を行うことにより、多くの項目で目標値を達成することができた。  
 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、市町村の集合注射を行うことができず、狂犬病予防注射率は80%と低い値を示し、目標値（97%以上）を達成できなかった。  
 推進計画の改定によって新たに定めた重点施策のうち、第一種動物取扱業者に対する監視指導率は目標値の100%を達成することができ、引き続き、動物の適正飼養の普及啓発を行う。

### ②困難を抱える子どもへの動物介在活動による支援事業

動物愛護センター（愛称：ハローアニマル）において、困難を抱える子どもを受け入れた。  
 子ども1名ごとに月1回、1時間程度の日程で、動物とふれあう程度から徐々にステップアップし、動物の世話やスタッフの手伝い等を通じ社会性を身に付けた（実施数299回、延べ利用者数299名（実人数45名））。  
 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、タブレット端末を利用した遠隔によるサポートの取組みも試行し、好評を得たため、遠隔地の子どもへの対応等継続的に行った（オンライン実施数19回、延べ利用者数19名（実人数4名））。  
 ◎おでかけ子どもサポートの開催  
 県内各地で困難を抱える子どもの保護者や支援者（市町村担当者や教育担当者を含む）を対象に、心療内科医による「発達心理及びカウンセリングテクニック研修会」及び「個別相談」（いずれも委託事業）を行うと同時に、動物愛護センターから各会場へ動物を連れていき、子どもを対象に動物のふれあい体験を行った。これらの取組みにより、全県へ動物介在活動の知識や技術が広がるよう、普及啓発に努めた（県下4か所、全48回、304名参加）。  
 ◎コーディネーター（会計年度任用職員：特別支援学校教員等経験者）を2名配置  
 当該職員のこれまでの経験を活かし、動物愛護センターにおける子どもの受入れ対応（ハローアニマル子どもサポート）を主として行うほか、おでかけ子どもサポートの企画、連絡調整、子ども・若者支援地域協議会との連携、関係機関への引継ぎ、人材育成支援、地域での基盤づくりのための環境整備等の打合せを実施した（ハローアニマル子どもサポート4回、関係機関との連携、打合せ会議等12回）。  
 また、新たに多人数1グループを対象としたサポート事業（子どもラポール）を立ち上げ、支援人数の受入れ強化及び子どものレベルに柔軟に対応できるようにした（実施数2回、延べ参加者数18名（実人数18名））。  
 ◎ふれあいのできるサポート動物の育成のための研修会として「新規サポーター研修会」（7名参加）、「動物介在活動のためのスキルアップ講座」等（16名参加）を開催した。  
 ◎その他、当該事業の紹介、事業に係る動物介在活動に係る会議を企画して開催した（1回、延べ参加者数36名）。

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	収容犬の返還・譲渡率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	達成
保健所が収容した犬を、HP掲載等を行い、可能な限り譲渡できるよう取り組んだことにより、目標値を達成することができた。							
指標②	収容猫の返還・譲渡率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
保健所が収容した猫を、HP掲載等を行い、可能な限り譲渡するよう取り組み、目標に達成することはできなかったが、令和3年度に比べ高い返還・譲渡率となった。							
指標③	動物ふれあい事業の参加者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から出張ふれあい教室等の依頼が減少し、目標値を達成することができなかった。							
指標④	ハローアニマル子どもサポートプログラムに参加した児童生徒の人数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
子どもサポート事業の実施について普及啓発を行っており、令和3年度より少ない人数ではあったが、一定の参加者が認められ、目標値は未達成であったが目標値（50人）に近い実績であった。							

## 8 今後の事業の方向性

### (1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・動物の愛護及び管理に関する法律が一部改正され、新たな基本指針が示されたことから、令和4年3月に「長野県動物愛護管理推進計画」を改定し、令和12年度までの新たな目標値を設定し、取り組んでいるところ。引き続き、猫問題への対策や災害対策、動物とのふれあいを通じた情緒的な安定や生活の質向上を図る動物介在活動に取り組む必要がある。

### (2) 翌年度以降の事業改善の方策

・長野県動物愛護管理推進計画に沿って施策を進めるとともに、地域猫活動への支援、多頭飼育問題への対策を強化することにより、動物愛護の普及啓発と適正な飼養管理の推進を図る。  
 ・新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症へ移行したことから、減少していたふれあい教室等の動物とのふれあいの場を充実させ、困難を抱える子どもを支援する。

事業番号	05 12 03	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	<b>動物愛護管理対策事業</b>		部局	健康福祉部	課・室	食品・生活衛生課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>動物愛護管理対策事業</b>		8,563 千円	12,292 千円	14,087 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	動物愛護管理対策	直接	・狂犬病予防のための徘徊犬の保護抑留及び返還 ・狂犬病予防及び動物愛護管理技術研修会の実施 ・動物愛護推進員の委嘱 徘徊犬の保護抑留を100%実施、技術研修会を3回実施、推進委嘱187名		
2	動物愛護フェスティバル	直接	・動物愛護フェスティバルの開催 フェスティバル参加者数3,000人		
3	保健所動物飼養管理委託	委託	土日、祝祭日における保健所内の犬・猫保護管理施設の飼養管理（県内9保健所） 委託先：テスコ(株) 委託日数122日		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	<b>犬等管理所運営事業</b>		8,437 千円	7,358 千円	6,648 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	犬等管理所運営・犬等の収集運搬	委託	保健所から犬等管理所までの犬猫の収集運搬（2コース合計16回） 犬等管理所の運営管理（2か所計40日） 委託先：朝日サニター(株)（管理所運営）、日本通運(株)（収集運搬） 収集運搬16回、運営管理20日		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	<b>動物愛護センター事業</b>		79,005 千円	85,569 千円	87,483 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	動物愛護センター運営	直接	動物愛護の普及啓発。動物介在活動の実施。しつけ方教室の実施。地域猫の活動支援。 来館者数59,194人		
2	動物飼養・施設管理委託	委託	動物の飼養管理、施設管理業務・施設保守点検業務 委託先：テスコ(株) 委託日数365日		
3	困難を抱える子どもへの動物介在活動	直接委託	県内4地域において、動物愛護センターの動物介在活動の紹介、人材育成のための研修会の実施 子どもサポートセミナー（発達心理カウンセリングセミナー、個別相談）の実施 委託先：特定非営利活動法人長野県子どもサポートセミナー 開催日数48日		